



家族の変化は遺産についての意識も変えた。財産のうち不動産が占める割合は大きい。その反面「子どもが跡を継ぐことや、親が住んでいた家を守る」という意識は薄くなっている」と、福岡相続サポートセンター（福岡市中央区）の伊瀬知

無料セミナーで相続の知識を広める。 伊瀬知は話す。親の世話や墓の管理をすべて長男がやる時代ではなくなった。また配偶者や子決の相続に関する相談や解決の手伝いを行っている。また相続の仕組みや遺言作成などを教える無料セミナーも開いている。

同社は三好不動産（同）が土地相続に関する相談サービス部門を独立させた企業。相続に関する相談や解決の手伝いを行っている。また相続の仕組みや遺言作成などを教える無料セミナーも開いている。

最近「エンディングノート」と呼ばれる、自らの死後の葬儀などの取り計らいを記しておくことが話題長は呼びかける。

気持ちを遺す相続

福岡相続サポートセンター

増える孤立死に対応

遺品整理士認定協会

「都市部を中心に家族の絆が薄くなっている」と分析するのは、遺品整理士認定協会（北海道千歳市）の沖西祐希事務局長だ。同協会は孤独死や孤立死した人々の遺品を、適切に処置する「遺品整理士」制度を創設。全国で講習や資格認定を行っている。これまでは、2013年5月時点では約2000人にのぼる。

身寄りがいない場合や、何十年にもわたって家族と交流がない場合など、高齢者が孤独死するケースは増えている。またそれに合わせて遺品整理のニーズも高まっている。遠方に暮らしているために遺品の整理を委託されることもある。

一方で「遺品は単純に処分できるわけではない」と、沖西事務局長は強調する。遺品の処分は一般廃棄物や産業廃棄物の収集・運搬に関わり、自治体の許可が必要などがある。またモノに込められた思いを適切に処理することも重要だ。そのため同協会では遺品整理のノウハウやポイントをまとめる目的もあり、遺品整理士制度を設けた。現状では「ニーズは、郊外より都市部の事例が多い」（沖西事務局長）という。



時代を映す墓

太宰府メモリアルパーク

「ニーズが不安に思われる墓地や墓石にも、時代に合わせた傾向がある。霊園を運営する太宰府メモリアルパーク（福岡県太宰府市）の田中紀行営業次長は「社会情勢に影響される業界」と説明する。老後の不安など生じることを第一に考えるをえない状況になれば、死後のことはどうしても後回しになる。

その傾向は、この4月に同霊園で受け付けを始めた「樹木葬」にも表れている。同園の樹木葬はスクラの木を囲んで墓石を配置し、墓ごとに納骨する形式。150基ある樹木葬のスペースのうち、2カ月間で3分の1が売却済みになるなど関心が高い。一般的な墓地の申し込み年齢が70代が多いのに対して、樹木葬は60代がメインと「ニーズの違いが明確。兄弟や親戚、嫁いだ娘からの相談や問い合わせが多いのも特徴だ。

またここにも経済環境の余波は見える。「安くはない墓代を子どもに負担をかけるないように自分の代で完結させる、という声も多い」（田中次長）と、時代を映している。



感動映像をインタビューや写真で作成

映像で家族の絆強く ティーアンドイー

現代では家族関係はどちらかといえば希薄化しているといえる。しかし、だからこそ家族を見つめ直し、絆を濃くしようとするサービスも登場している。老舗の映像制作会社のティーアンドイー（福岡市中央区）は、一人の人生や思い出を振り返る映像制作サービスを開始した。本人へのインタビューや思い出の写真を基に構成する「個人を主人公にした自分史づくり」と、渡辺弘幸専務は説明する。

その人の幼少期から現在までの写真30枚程度を集めて、本人のコメントつきで紹介。音楽やテロップをつけて10分程度に編集する。思い出を振り返り、写真を整理する機会にもなる。個人で手軽に動画を撮影できる時代だが、同社はCM制作用の本格機材を使う差をつける。また「どこを撮り、どこをみせるかにプロの自負を込めている」と渡辺専務は胸を張る。九州新幹線全線開業CM「祝！九州」を制作し、国際的な広告賞で高い評価を受けるなど、同社の技術は折り紙付きだ。

祖父母や両親の高齢のお祝いに贈るケースを想定、本人には内緒で家族・親族にもインタビューするため、サブライスも演出できる。家族の規模が縮小している時代だが、家族が知らなかった歴史を伝えられる」（渡辺専務）とともに、一人を中心に家族が形成されていく尊さを実感できるサービスだ。



講師 高山綾子氏

仕事ができないと「幸せ感」「私はイケる！」
と思える人は少ないはずです。だから、
○悩んだ時の思考の転換方法
○仕事で人間関係を良くする方法
○「できる人」になるために身につけておくべき事
をお伝えします。

たかやまあやこ
心理カウンセラー。講演会やビジネスセミナーの講師として活躍中。高級クラブのNo.1ホステス、生命保険会社での営業トップセールスの実績を上げた後、カウンセラーへ転身。大病や離婚を経て、2児の母。これらの経験から得た知識とスキルを活かし、仕事と人生を成功に導く方法を説く。

申込番号A1

脱・ネガティブ思考術

仕事で結果を出したいあなたへ

「どうせうまくいかないだろうなあ」「くよくよしても仕方ないのは分かっているけど…」などと考えてしまう人は多いはず。スキルがあってもネガティブ思考では仕事はうまくいきません。本セミナーではネガティブ思考をポジティブな状態にする具体的方法をお伝えします。

日時 9月4日(水) 19:00~20:30
会場 日刊工業新聞社西部支社 4Fセミナー室
(福岡市博多区古門戸町1-1)
プログラム ・ネガティブ思考になる原因
・達成感・満足感を自分で生み出す方法
・ポジティブをつくり出す方法 他
受講料 3,150円(税込み)

申込方法

①氏名(フリガナ) ②住所 ③会社名 ④部署・役職 ⑤電話番号・FAX番号 ⑥メールアドレス
⑦申込番号 をご記載の上、E-mail またはFAXにてお申し込みください。
●E-mail kats@media.nikkan.co.jp ●FAX 092-271-5881
※お申し込みいただいた方には後日振込先などの詳細をご連絡いたします。
※お申し込みが最少催行人数に満たない場合は中止させていただく場合がございます。

申込締切 8月9日(金)

＜個人情報の取扱について＞

お申し込みいただいたお客様の個人情報は、日刊工業新聞社および関連会社が適切に管理し、展示会・セミナー等の、案内をお送りするために利用させていただく場合がございます。

お問い合わせ先 日刊工業新聞社西部支社 業務部イベント担当 TEL 092-271-5715 FAX 092-271-5881 E-mail kats@media.nikkan.co.jp